

美術工芸学科 学科ルーブリック（学修到達度ルーブリック）

芸術学部ディプロマ・ポリシー			学科別	4	3	2	1
DP	6つの力	内容	内容	卒業時到達レベル （＝DPにおける到達目標レベル）	3年修了時到達レベル	2年修了時到達レベル	1年修了時到達レベル
人間力 自立した一人の人間として生きるための力	知識・情報収集力	自分をとりまく人間、社会、自然に対して開かれた好奇心をもち、自身の学修や企画に必要な知識と情報を、主体的かつ体系的に収集し理解することができる	過去から現在に至る芸術・文化・歴史・社会・思想に対して開かれた好奇心をもち、自己成長や作品制作・研究に必要な情報を主体的かつ体系的に収集し理解することができる	作品制作・研究ならびに自己成長においてどのような知識・情報が必要であるかを判断し、それらを主体的かつ体系的に収集し理解することができる	多様な知識・情報を得るに加え、学修ならびに自身のテーマに関わる専門的な知識・情報を主体的に収集し、理解に努めることができる	芸術・文化・歴史・社会・思想に対し時代と地域をこえて学ぶ姿勢をもち、幅広い知識・情報を自ら収集することができる	ひとつの物事への興味や発想・疑問をきっかけとして、それに関連する知識・情報を探求することができる
	コミュニケーション力	人間の多様性を理解し、異なる価値観をもつ他者との間に相互理解を形成し、協働することができる	人間・文化・歴史・社会・思想の多様性を理解し、異なる価値観や立場をもつ人々との共生・創発を実現するため協働することができる	異なる価値観や属性を持つ他者と相互理解・共生をはかり、多様性の尊重に基づく新たなモノ・コトの創出のために協働することができる	異なる価値観や属性を持つ者同士の共生と、そこから新たなモノ・コトが生み出される可能性に意義を見出し、他者との相互理解に努めることができる	人間を取り巻くさまざまな物事の多様性への理解に基づき、異なる価値観や立場に対し存在意義を見出すことで接点を築くことができる	人間を取り巻くさまざまな物事の多様性を認識し、自分と異なる価値観に対し関心を持つことができる
	倫理観	自身の良心と社会の多面的な理解に基づき、社会のために芸術の力を活かすことができる	芸術・文化・歴史・社会・思想などの多面的な理解を軸として、常に他者への想像力と反省的視点をもって自らの知識や技術・能力を適切に社会に活かすことができる	芸術・文化・歴史・社会・思想などの多面的な理解を軸として、常に他者への想像力と反省的視点をもって自らの知識や技術・能力を適切に社会に活かすことができる	芸術・文化・歴史・社会・思想などの多面的な理解を軸として、常に他者への想像力と反省的視点をもつことができる	自身の良心への認識と共に芸術、文化、歴史、社会、思想などを学ぶことによって、自他への反省的視点を見つづけることができる	自身の良心への認識から、他者に対する想像力を持つことができる
創造力 芸術の力を社会に活かすための力	論理的思考力	所与の情報をもとに、物事を分析的かつ論理的に考えることができる	芸術、文化、歴史、社会、思想などの知識をもとに、物事を学際的・分析的な批判的思考や論理的整合性を持って捉えることができる	芸術・文化・歴史・社会・思想などの知識をもとに、物事を学際的・分析的な批判的思考や論理的整合性を持って捉えることができる	芸術・文化・歴史・社会・思想などの知識をもとに、物事を学際的・分析的に捉え、批判的に思考することができる	芸術・文化・歴史・社会・思想の学びから、物事を学際的・分析的に捉えることができる	芸術・文化・歴史・社会・思想を幅広く学び、思考の基礎を身につけることができる
	発想・構想力	感性的な直観と理性的な分析や思考から得られた発想を統合し、具体的な研究・制作へと結びつくテーマや仮説として構想することができる	豊かな想像力や感性と自身の専門性に基づく分析や思考とを組み合わせた柔軟な発想によって、理論と実践や制作と研究などの垣根を横断したテーマや仮説を構想することができる	豊かな想像力や感性と自身の専門性に基づく分析や思考とを組み合わせた柔軟な発想によって、理論と実践や制作と研究などの垣根を横断したテーマや仮説を構想することができる	豊かな想像力や感性と自身の専門性に基づく分析や思考とを組み合わせた柔軟な発想によって、課題解決や問いの立案のための構想をすることができる	学びから得た新たな想像力や感性を自身の専門領域の中で活かすための構想をすることができる	自らの生まれ持つ想像力のみならず、新たな学びから得た新しい技術や知識を用いて柔軟に発想することができる
	表現力	テーマや仮説を、適切な媒体・形式によってモノ・コトとして可視化し提示することができる	自らのテーマや仮説を論理的に整理しつつも、それらの枠にとられない独創的な新基軸を持って具体化することができる	自らのテーマや仮説を論理的に整理しつつも、それらの枠にとられない独創的な新基軸を持って具体化することができる	自らのテーマや仮説を論理的に整理し、適切な媒体、形式、方法によって効果的に具体化することができる	自らの発想や構想を他者に伝えるための多様な方法を学び、理解し、実際に具体化することができる	自らの発想を他者に伝えるための多様な方法を学び、理解することができる